

サマーミーティング議事録

開催日時 平成21年7月22日(水) 午後2:00

開催場所 笠間市役所 笠間支所 2階 会議室

参加者

- 生徒28人(市内各中学校代表4人×7校) 男子14人・女子14人
- 山口市長、渡邊副市長、飯島教育長 ほか

《意見交換テーマ》

- A. 観光・産業
- B. 環境
- C. 安心・安全
- D. 生活

《意見交換》

A. 観光・産業

意見等1

笠間市の特産物を多くの人に知ってもらうために大きな「道の駅」を作るといいと思う。北関東自動車道ができたので、遠くの人にも買っていつてもらえると思う。笠間市には笠間焼などの特産物があるが、「食」という目線で考えるともっと大きな観光地になると思う。

回答1(市長)

笠間市にも「道の駅」をほしいと思っています。そこで、考えていかなければならないのは、何を売るかです。「道の駅」と同じように、農協の直売所では地元の野菜を中心に販売していますし、北関東自動車道の笠間パーキングエリアでも特産物を販売しています。ETCでの料金が1000円になった影響で高速道路利用者が増えていますが、「道の駅」と同じように多くの人に立ち寄ってもらえるような施設形態を備えています。

意見等2

もっと行事が増えるといいと思う。笠間地区の8月のねぶたは、大人から子ども、高齢者まで楽しめる行事なので、他の市からもうらやましがられるような行事になればいいと思う。

誘拐などの事件は聞かないが、変質者が増えていると思うので、危険なことがないようにしてほしい。

回答2(市長)

合併前から、友部地区の祇園、笠間地区のねぶた、岩間地区の六所神社のお祭りがあります。これらを笠間全体のお祭りとして続けていきたいと思えます。市内全地域からもっと多くの人に参加してもらって、盛り上げていこうという考えです。

「通学路が暗いので明るくしてほしい」、「安心安全な暮らしをしたい」というのが皆さんに限らず、市民の皆さん全体の願いだと思います。通学の安全では、保護者や地域の皆さんと一緒に防犯パトロールをし、暗いということであれば防犯灯を付けたりしながら、地域で安心安全な生活の場を作っていくということをしています。もし、通学していて暗いところがあれば、市役所に電話をして話してください。

意見等3

笠間焼など笠間の古い文化を大切にしたり、笠間市のクリーン作戦を強化したりすると、住みやすく、良い環境になると思う。

回答3(市長)

文化というと広いですが、笠間焼は芸術文化、クールシェヴェール国際音楽アカデミーは音楽文化、合気道はスポーツ文化と言えるでしょう。伝統的な歴史を我々の世代が皆さんに伝え、皆さんが大人になって後世にきちんと伝えていけば、笠間市の文化は継承されていく

と思います。

意見等 4-①

笠間の特産物を広く知ってもらうアイデアをもっと出してほしい。

回答 4-① (市長)

市内にもいろいろな名所がありますが、もっと多くの人に知ってもらい、訪れてもらい、良さを知ってもらい、できれば、住んでもらいたいと思っています。市外の人にどう知ってもらい、PRをしていくかということを考えています。東京でチラシを配ったり、観光会社、バス、鉄道会社などを回ってパンフレットを置いてもらったりしています。今はインターネットを使ったPRが効果的で、いろいろな方面から問合せをいただいています。知名度を上げるために一生懸命やっていかなければならないと思っていますが、皆さんにもPRをお願いします。

意見等 4-②

東京でチラシをまくという話だが、アンテナショップが効果的ではないかと思う。笠間市でもやったほうがいい。

回答 4-② (市長)

アンテナショップは非常にいいアイデアですが、アンテナショップを出しているのは、現在は市町村より都道府県が主流です。あるといいと思いますが、まだ先の課題です。

意見等 5

笠間市のシンボルについて考えると、笠間焼の大花瓶や笠間稲荷神社の鳥居などが思い浮かんだ。インターネットを使って、世界中にもっと笠間を知ってもらうようにしてほしい。

回答 5 (市長)

手越の国道355号沿いや北関東自動車道の笠間パーキングエリアに、笠間市のシンボルとして、福田製陶が寄贈してくれた大花瓶があります。

また、東中学校の玄関や岩間中学校新校舎の昇降口に笠間焼を使った陶板が張っており、焼き物の振興を図っています。

意見等 6

笠間市を知ってもらうためにブランドを確立したほうがよい。

回答 6 (市長)

例として、笠間の栗をブランド化しようという取組みがあります。笠間市は、栗の栽培面積がほぼ日本一なんです。この栗のことをもっと知ってもらうためにはブランド化が重要であると思い、農政課が担当して取り組んでいます。栗に限らず、皆さんがおいしいと思うコマや野菜、小菊などのブランド化を推進していきたいと思っています。

意見等 7

笠間市は、合併してからとても発展してきたように思うが、岩間地区にも大きなドラッグストアがあるといいと思う。

回答 7 (市長)

大型店舗は道路ができると必ず進出してくると思います。

意見等 8

笠間の流鏝馬に参加して、足りないと思ったことがある。有名人が参加してくれば、効果が得られると思う。

回答 8 (市長)

流鏝馬を行っているのは、茨城県内では、鹿嶋の鹿島神宮と笠間稲荷神社ぐらいです。有名人を呼ぶとすれば誰がいいでしょうか？ 笠間市に毎年来る有名人には、華道家の假屋崎省吾さんがいます。笠間出身で活躍しているスポーツ選手はどうでしょうか。このような意見があったことは、流鏝馬を主催している笠間稲荷神社の宮司さんに伝えます。

B. 環境

意見等 1

笠間市の豊かな自然を生かした事業を増やしていくことが必要ではないか。芸術の森公園は、山あり、花ありで非常にいいと思う。

道路に花を植えていく事業があると思うが、広範囲で行なっていくよう協力が必要だと思う。笠間市をきれいで、花が咲き乱れるようなまちにしてほしい。

回答 1 (市長)

芸術の森公園は市が管理しています。公園に限らず、公共施設は、みんなで大切に使うという気持ちが必要です。

道路に対しては、その地域で花を植えたり、地域の道路は地域の人たちできれいにしたりしていかうという考え方が出てきています。地域を大切にすると人たちが増えてくれば、市内の道路も美しくなっていくと思います。

意見等 2-①

クリーン作戦をもっと目立つように実施してはどうか。拾っている人の姿を見て、捨てる人が悪いと自覚するようになるのではないかな。

意見等 2-②

クリーン作戦を行なうと、地域にいかにかゴミがあるのかがわかる。市全体でもっと実施し、市の方も取り組むべきだと思う。

回答 2 (市長)

クリーン作戦については、市で実施しているもののほか、市民憲章委員会が年に3回、笠間・友部・岩間地区でそれぞれ実施しているものがあります。そのほか、地域でゴミ拾いや草刈りが行われています。行政も努力も必要ですが、地域を守っていかうという意識も必要ですので、地域の人にがんばってもらいたいと思います。

意見等 3

市役所や公民館など、人が集まりやすい場所でフリーマーケットを開催してはどうか。不用品などを売るのはリサイクルになり、環境にいいと思う。

回答 3 (市長)

岩間駅前でも毎月第2日曜日にフリーマーケットを行っています。市役所でも年2回、3月と9月に行なっています。もっと盛り上がるように主催者に話をします。

意見等 5

地球温暖化の影響で緑を増やしていかうという運動があるが、笠間市にはもともと緑が多いので、その維持継続に力を入れていくべきだと思う。そうすることで、市を訪れる人へのいいイメージを持ってもらうことができるのと思っています。

回答 5 (市長)

市役所や支所でも、昼休みの消灯やグリーンカーテンなど、いろいろなエコ対策をしています。地球温暖化対策では、自分でできること、中学校でできることを考えながら実践していくことが大切だと思います。

意見等 6

道路の舗装をお願いしたい。

回答 6 (市長)

場所がどこなのか具体的に教えてください。理由があつて舗装していないのか、よく調べてみます。

意見等 7-①

笠間市の自然はとても美しいと思うが、近所で野焼きが多い。自転車のゴムチューブを燃やしている人を見かけたこともある。そういう人たちは、いけないことだとは知らずに、周囲のことをあまり考えていないのではないかなと思う。呼びかけをしてほしい。

意見等 7-②

中学校の近くの道路の清掃をしているが、たばこの吸殻が目立つ。捨ててしまう人への呼びかけが大事だと思う。

回答 7 (市長)

CO²の削減についてですが、いろんな取組みによって達成できると思います。今年の洞爺湖サミットなどでもいろいろ協議されました。市役所でも「マイはし」などを実践していますが、自分たちのできることから取り組んでいくことが大切だと思います。

モラルを守るということについては、行政がリードしてしっかり取り組んでいきたいと思っています。

意見 (教育長)

笠間の特産物について、「食」という目線でという話がありました。今、大学生はまちづくりをテーマに勉強して、報告会もしています。県には手作り料理コンテストなどがありますが、皆さんも、笠間の材料を使っておいしい料理やお菓子を作ってみてはどうでしょうか。総合学習で取り組んでみたり、文化祭やフリーマーケットの売り上げを学校の活動費にしてみたりするなど、そういう仕組みややり方を勉強するのも大切だと思います。

C. 安心・安全

意見等 1-①

下市毛の踏切を渡らないと学校に行けないのだが、その踏切がとても狭くて、毎日危ない思いをしている。

観光客も多く来る地区なので、道や踏切が狭くては支障がある。整備をして、地域の人も安心して住めるようにしてほしい。

意見等 1-②

道路に街灯やガードレール、カーブミラーを増やしてほしい。部活で下校するころには暗くなり、車にひかれそうになったこともある。

意見等 1-③

通学路について、小学生の徒歩通学と中学生の自転車通学がすれ違うときに危険な状態になる。小学生と中学生のそれぞれ専用の通学路を作してほしい。

意見等 1-④

街灯を整備してほしい。明るい地区がうらやましい。通学路は、街灯がなく、真っ暗で道も砂利道である。街灯が集中しているところとそうでないところがある。笠間市を明るいまちにしてほしい。

回答 1 (市長)

道路の整備や街灯の設置についてですが、街灯が少なかったり、信号機がついていなかったりする場所は確かにありますが、一気に改善できないのが現状です。学校の先生や区長さんからもいろいろ要望をいただいています。

街灯については、市では、去年と今年に予算をつけて、新設したり旧型からエコ型に交換したりしています。今年 800 基の新設を予定していますが、これでも十分ではありません。全地域に設置できるとは限りませんが、暗い箇所があったら学校の先生に伝えて市役所に連絡してもらってください。検討して、必要なところには設置をしていきます。

また、道路を広くするには、広くする箇所の土地を持っている人に了解を得なくてはならないので、時間がかかってしまいます。いろいろなケースがありますが、狭いところは広げるよう努力はしていきます。

狭い踏み切りは広げたいと思っていますが、J R といろいろな協議が必要です。時間がかかっても取り組み、一つひとつ改善をしていきたいと思っています。

意見等 2-①

市内には、お年寄りが多く住んでいる。一人で住んでいたり、昼間 1 人になったりして、階段から転んだりして怪我をしたら大変。市役所や保健センターの職員が回って健康チェッ

クをしたらいいと思う。

意見等 2-②

笠間市が日本一温かい市になればと思っている。温かいとは、地域社会の活性化や地域とのつながりを大切にする事。お年寄りの孤独死が増えているとニュースで聞いた。私の住んでいる地域では、子ども会やお祭りなどで活性化していると思う。他の地域でも広めていってもっといい市になってほしい。

回答 2 (市長)

1 人暮らしお年寄りの家には、消防署への緊急通報ができる電話が付いています。また、ヤクルトさんと協力して、定期的にヤクルトを配達しながら安否確認をしています。それだけで、すべてということではありませんが、1人で住んでいるお年寄りには話すことを楽しみにしています。皆さんも近所で話し相手になってあげるととても喜ばれると思います。

日本一温かい市ということですが、理想としてすばらしいと思います。皆さんにも地域のつながりを大切にしてほしいと思います。

意見等 3

あいさつをしても返してくれなかったり、変な目で見られたりする。大人になるとあいさつをしなくなってしまうのはどうしてか。

回答 3 (市長)

あいさつを返してくれないと嫌な気分になったり、さびしくなったりしますが、あいさつができないの方がさみしいと思います。返してくれなくてもがんばって続けてほしいと思います。

意見等 4

信号がなくて危ないところがあるのに、なぜ付けないのか。茨城県のドライバーはマナーが悪いと聞く。呼びかけをしてほしい。

回答 4 (市長)

ドライバーのマナーでは、確かに茨城県の人はマナーが悪いという統計が出ています。皆さんはそういうドライバーにならないでほしいと思います。交通安全協会では交通安全の取り組みをしています。行政も一緒に取り組んでいきたいと思っています。

意見等 5

友部駅の近くの点滅信号で事故があった。民家の木の塀に車が突っ込んだようだ。今後もあったら大変なので、普通の信号にしてほしい。

回答 5 (市長)

友部駅の踏み切り近くの点滅信号ですが、信号から踏み切りまでの距離が短いことが理由で点滅信号になっているので、難しいです。

意見等 6

友人の家の近くに急な坂があり、坂の下が急に曲がっていて、両側が田んぼになっている。その坂で高校生が横に3列になっているのをよけたら、田んぼに落ちた。マナーを呼びかけてほしい。

回答 6 (市長)

田んぼに落ちたというのは、けがはなかったですか？

普通の人々が当然に思う常識を失わないでほしいと思います。

D. 生活

意見等 1-①

日ごろ自転車で市内を回っていると、段差が目立つ。また、車イスや目の不自由な方にとっても、歩道も狭く、電柱がさらに狭くして歩きにくい道が多い。段差や電柱を減らして、歩道を広くしてほしい。

意見等 1-②

笠間地区焼肉店のところの段差が目立つ。ゆっくり走っても衝撃が来る。怪我をした後輩もいる。焼肉店から家電量販店に来る道にも段差がある。

回答 1 (市長)

段差解消についてですが、障害者にもやさしいまちづくりを目指して、市では少しずつ取り組んでおり、これからも続けていきます。公共施設全般はバリアフリー化が望ましいですが、すべての施設、道路などをバリアフリーにするのは難しいです。

段差があるという箇所はよく見てみます。

意見等 2

ホテルが減っている。その理由の一つは街灯ができたからである。街灯は大切なものだけど、ホテルは回りに明るいものがあると光の交信ができず、産卵ができない。ホテルがいる地区には明るさの弱い街灯を使ってほしい。

回答 3 (市長)

街灯は、暗い道を歩く人には必要ですが、道路側にしか光がとどかないようなカバーがあります。全部付けるのは難しいですが、自然環境を大切にしながら、調和を取っていききたいと思います。

意見等 3

高齢者の人が楽しめる施設を作ってほしい。笠間市は茨城県下でも高齢者が多いと思う。祖母が笠間市には楽しめる施設がないと愚痴をこぼしていた。そういう施設があれば、高齢の方々も楽しく生活できるのではないかと。

回答 3 (市長)

高齢者が楽しめる施設ですが、どういうものがあつたらいいか、おばあちゃんに聞いてみてください。行政ですべてやるのは難しいですが、生きがいをもって長生きができるような取組みも必要だと思います。

意見等 4

電柱などのいたずら書きは、よくないと思う。落書きのないまちにしたい。

高齢者が増えてきて、今はデマンドタクシーがあり、いいと思う。

回答 4 (市長)

いたずら書きはモラルの問題です。皆さんは、モラルを守る必要性を十分認識している中学生だと思います。そのまま、成長して行ってほしいと思います。

デマンドタクシーは課題も多いので、もっと乗りやすく検討をしていきたいと思っています。

意見等 5

笠間市は音楽が活発なまちだと思う。市内には、小中学校、高校の吹奏楽部やマーチングバンドがあり、クールシェヴェール国際音楽アカデミーも催されているが、音楽ホールなどの設備が整っていないと思う。すばらしい音楽のあるまちとして、音楽がもっと活性化するような施設を作ってほしい。

回答 5 (市長)

クールシェヴェールの事業はこれからも継続していきたいと思っています。音楽によるまちづくりを目指していますので、水戸の芸術館にあるような立派な音楽ホールをほしいと思いますが、建設は難しいと思います。

意見等 6-①

外国人との交流がもっとあってもいいのではと思う。英語は慣れが必要と言われる。日常でも英語に親しめる環境になればと思う。

京都など歴史のあるまちには、外国人がたくさん来ている。笠間市もイベントなどがあってもいいのではと思う。

意見等 6-②

中学生が英語で好きなことを話し合う「インタラクティブイングリッシュフォーラム」という大会があるが、あまり知られていないと思うので、もっと広めてしてほしい。国際交流の活性化につながり、笠間市から世界へ羽ばたく人が出ることにもなると思う。

回答6（市長）

笠間市に一番外国人が訪れるのは合気道の関係です。世界92カ国に広がっているのです。いろいろな国の方が修行に来ています。

笠間市には、最近、（社）国際交流協会ができ、今までも取り組んでいましたが、ホームステイや交流事業をもっと広めていこうとしています。

私の経験からすると、外国人からはまちの歴史や文化を尋ねられます。自分の住んでいる地域の歴史や文化を勉強することも必要です。国際化は英語だけではないですが、英語をしっかり勉強してください。

（教育長）

「インタラクティブイングリッシュフォーラム」では、まず学校の代表者を決め、笠間市内の大会があり、中央地区大会があり、その代表者が県大会までいきます。英語の先生が集まり、主催しています。出場するだけではなく、一緒に見てくることも大切です。

意見等7

少子高齢化が進んでいる。少子化対策として、妊婦さんが安心して出産できるように医療を充実してほしい。高齢化に対応するには、福祉施設を増やし、お年寄りのちょっとした変異に気づけるようにしてほしい。

回答7（市長）

少子化は笠間市でも進んでいます。子ども出生数で毎年約60人少なくなっています。人が減るということは地域にとって大きな課題で、いろいろなところでマイナス志向になります。市では、いろいろな少子化施策事業に取り組んでいます。これからも取り組んでいきます。産み、育てやすい環境づくりに取り組んでいきたいと思えます。

福祉施設についても、高齢化にしっかり取り組んでいきたいと思えます。

講評（副市長）

今日は、4つのテーマで議論していただきました。終わってほっとしている方もいれば、物足りない方もいると思えます。

市では、市民の皆さんに参加していただいて、まちづくりをしようといういろいろな取組みをしていますが、現状では、なかなか意見が出ません。皆さんには、今日いろいろ意見を言っただけではありません。今日感じたことを学校に戻って話し合ってみる、あるいは家族と話し合ってみるということをお願いしたいと思います。

貴重な経験を大事にしてください。お疲れさまでした。